

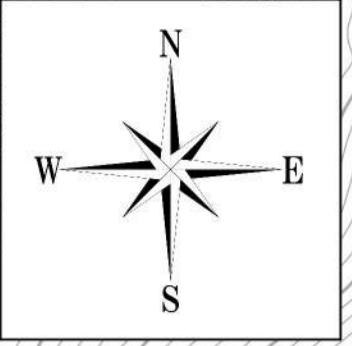
天竜川水系 小沢川 洪水浸水想定区域図【想定最大規模降雨】



凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 5.0~10.0m未満の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 0.0~0.5m未満の区域
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 洪水浸水想定区域図の対象となる区間



1 説明文

(1) この図は天竜川水系小沢川の長野県管理区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の小沢川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により小沢川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支派川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域図に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

2 基本事項等

(1) 作成主体 長野県

(2) 指定年月日 令和8年3月27日

(3) 指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項

(4) 対象となる河川 天竜川水系小沢川(実施区間)
左岸: 飯田市上村程野から上村川への合流点まで
右岸: 飯田市上村程野から上村川への合流点まで

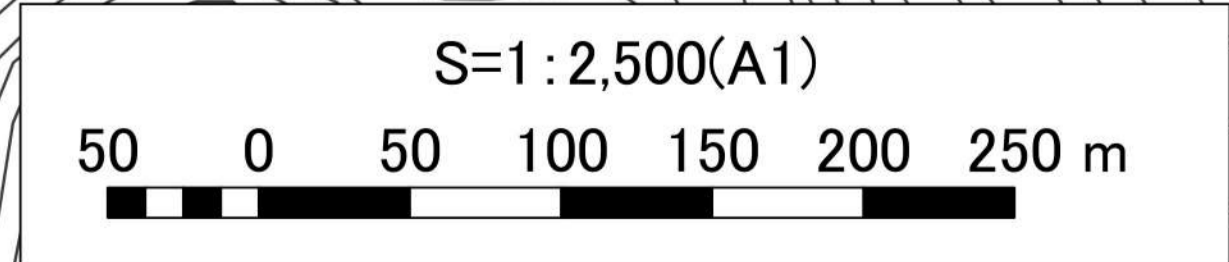
(5) 指定の前提となる降雨 小沢川流域の48時間の総雨量774mmを想定

(6) 関係市町村 飯田市

(7) その他の計算条件等

① 氾濫区域を5m格子(計算メッシュ)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

② 氾濫解析では、支川の氾濫による影響、排水機場などの内水処理施設等の効果は考慮していません。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 7Jhs 613) 背景図は基盤地図情報を拡大して使用しているため、位置精度は基図に準じます。